

第 15 回 LCV「諏訪圏情報 BOX」

- 放送日 令和 5 年 3 月 7 日(火)、14 日(火)
- テーマ 春の山火事予防運動について
- 出演者 諏訪地域振興局林務課 宮原登

- 聞き手とのやりとり(概要)

- この時期、春の山火事予防運動が始まると聞か？

➡毎年、春のこれからの時期は、空気が乾燥し、風が強い日が多いことなどから、気象的に山火事の発生し易い時期となります。

また、季節が良くなることから、野山へ出掛けたり、農作業の準備が始まるなど、人の動きが活発になり、外で火を使うことがあることから、山火事が発生する恐れが高まります。

そこで、長野県では、市町村や消防関係者とともに、3月1日から5月31日までの3か月間を「春の山火事予防運動」として、広報活動等により、注意を呼びかけることとしています。

- 具体的になどどのような運動を展開するか？

➡広報活動としては、こうしたラジオ等のメディアを活用した啓発や、ポスター、のぼり旗の掲示、チラシの配布などを行います。

その他にも、乾燥が進み山火事の発生する恐れが高い時期や、風の強い日などは、随時、地域振興局や市町村等で広報、パトロールを行う予定です。

- 標語もあると聞いたが？

➡この春の山火事予防運動は全国的に行われるもので、全国の統一標語として

「火の確認 山を愛する あなたのマナー」という標語が使われます。

多くの方に、覚えていただき、火を使う時は、思い出していただけると幸いです。

○ ところで、こうした山火事はどれくらい発生しているか？

➡昨年、諏訪管内においては、2件の山火事が発生しています。

それまでも毎年、数件程度、発生している状況です。

件数は少ないように思われますが、山火事は一旦発生すると大きな火災になりがちです。

特に、平成25年4月の霧ヶ峰の山火事や、平成27年3月の岡谷市川岸の山火事は、大規模な火災となったことを覚えていらっしゃる方も多いと思います。

○ 山火事の原因や、怖いところはどんなところ？

➡山火事の原因として、最も多いのは、たき火の延焼です。

レクリエーションや農作業の準備で、屋外で火をたくことがあるかと思いますが、屋外で火を使う場合は、ちょっとした不注意が、山火事等の大きな火災につながる可能性がありますので、十分な注意が必要です。

それから、山火事の怖いところは、急峻な地形や、水の確保が難しいことで、消火活動が困難になることや、風が強い場合は、瞬く間に燃え広がり、被害が広範囲に拡大することがあります。

そして、何よりも、長年、育てた森林を一瞬にして、灰にしてしまうことが、山火事の怖いところですよ。

○ 山火事を起こさないために注意することは？

➡まずはこの時期に、屋外で火を使うことは、出来る限り避けていただきたいと
思います。

やむを得ず火を使う場合は、必ず消火用の水を用意した上で、最後に完全に消
火したことを確認してください。

特に、雨が少なく乾燥が進んだ場合や、風が強い時などは、屋外での火の使用
を、是非、避けて頂くようお願いいたします。

なお、この時期に、土手焼き等からの延焼による山火事が発生しています。山
際での土手焼きは、大変危険です。

また、屋外でタバコを吸うなどの行為も危険です。火のついたままのタバコは
もちろんですが、タバコの吸い殻を投げ捨てることは、絶対に止めていただくよ
うお願いします。

【時間あれば、追加】

○ もしも山火事が発生してしまった場合は？

➡春の屋外では、光の加減で火が見えづらく、知らない間に飛び火するなどして
大変危険で。火災が発生してしまった場合は、決して一人で消そうとするのでな
く、すぐに消防署へ通報してください。

一人で消そうとして、火に巻かれたり、煙を吸うなどして事故になることがあ
りますので、早めに避難することが大切です。